

北陸新幹線の早期全線開業について (要望書)



令和7年8月

大阪府知事 吉村 洋文

北陸新幹線の早期全線開業について

北陸新幹線は、首都圏、北陸圏及び関西圏をつなぎ、各地域間の交流・連携を強化し、我が国のさらなる成長・発展を支えるとともに、東海道新幹線、リニア中央新幹線とあわせて、東京・大阪の2大都市圏をつなぐ国土軸の多重化により、大規模災害に強い国土形成に資する極めて重要な高速交通インフラである。

また、国土形成計画において、近畿圏は、三大都市圏を結ぶ日本中央回廊の西の拠点として、世界からのゲートウェイ機能の強化等を図ることが求められており、その中でも大阪は、東海道・山陽・九州新幹線に加え、将来的に北陸新幹線、リニア中央新幹線等と結節し、全国へつながる広域交通ネットワークの一大ハブ拠点として、その役割を担うことが期待されている。

昨年3月16日には金沢・敦賀間が開業したが、大阪まで早期に全線開業してこそ、大規模災害時に東海道新幹線の代替機能を果たす北陸新幹線の整備効果が最大限発揮されるものである。

未着工区間の整備にあたっては、我が国の持続的な成長や国土の強靱化、東京一極集中の是正の観点からも、整備財源を速やかに確保し、進めていく必要があり、早期着工、早期全線開業が必要不可欠である。

北陸新幹線については、平成29年3月以降、小浜・京都ルートで進められる中、事業費や費用対効果などの変化や、様々な意見が出ている状況から、国において、早期に、米原ルートも含め幅広く比較・検討し、関係者と合意形成を図ることにより、一日も早い認可・着工を実現すること。

令和7年8月

大阪府知事 吉村 洋文